

令和4年度事業報告

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない逆風下、会員が一丸となって真摯に事業推進に努めた結果、前年度に比し2,844,451円減額しましたが、1億円を超える108,798,630円の契約金額を維持することができました。

また、会員数は、ここ数年165名前後で推移しておりましたが、高齢者就業拡大支援事業に係るマッチング支援員の活動や広報誌回覧等で地域住民にシルバー事業が広く周知されたことにより、169名の会員数を維持することができました。

今後とも生涯現役社会の実現に向け、福祉・家事援助サービス事業、介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業）、空き家・空き地の管理対策事業、次世代を支える保育園や放課後児童クラブ等の子育て支援、人出不足解消のための小売・サービス・製造業等への就業支援等地域社会からの要請に応えられる事業の開拓、そのための根幹となる会員拡大の促進を図ります。

また、安全・適正就業環境を更に充実させ、会員が安心して喜んで働ける環境、組織風土の改革に真摯に取り組む、事業を進めてまいります。

2. 事業実施報告

(1) 就業開拓提供事業

ア 受託事業

企業、公共機関・各種団体等へ雇用情報の収集を行い新規就業先の開拓に努めるとともに、広報誌等によるセンターへの就業依頼要領の周知活動等で受託事業を維持しております。

特に、福祉・家事援助サービス事業や新総合事業の受託要請に応じられる会員の確保が急務であると考えております。

[財 源]

受託事業収入、会費収入及び国、町からの補助金を財源としております。

[事業の実施場所]

当センター及び民間・公共施設等の発注者事業施設等で行っています。

[令和4年度実績]

新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度に比し受託件数は12件微増の762件、就業延人員(人日)

は537人増の19,940人、契約金額は216,920円増の95,109,036円を達成することができました。

イ 職業紹介事業

臨時的かつ短期的な雇用による就業、または、その他雇用による軽易な業務に係る就業を希望する町内の高年齢者を対象として、町内の企業からの求人要望に対する職業紹介を行うこととしていますが、昨年同様今年度も実績はありませんでした。

ウ 一般労働者派遣事業

「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第42条第5項」により、センターは、その公共性・公益性の観点から、許可制ではなく届け出制により労働者派遣事業を実施しております。

具体的には事業主体である公益社団法人福島県シルバー人材センター連合会の矢吹事業所として、町内の官公庁・企業を派遣先事業所として労働者派遣事業を実施しています。

[令和4年度実績]

昨年度に比し受注件数は1件減の7件、契約金額は3,061,371円減の13,689,594円で就業延人員（人日）は575人減の3,073人でした。

公共・企業等からの受注は労働力の提供が主であることが多く派遣事業を推進します。

エ 指定管理者受託事業

矢吹町から指定管理者として福社会館、公園管理、社会体育施設の維持管理業務を受託し、地域社会住民の健康福祉に寄与するとともに、就業機会の確保を図っております。

[財 源]

矢吹町からの指定管理委託料及び施設使用料を財源としております。

[事業の実施場所]

本センター及び指定管理者受託施設等で行っております。

[令和4年度実績]

昨年度に比し、受託件数は3件と変わりませんが、受託金額は52,277円増の4,495,000円でした。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響で使用料収益等が前年度に比し42,310円減の9,967円の微増で事業収益増加が課題となっております。

(2) 普及啓発事業

地域社会からのニーズに応えるべく元気で多様性に富んだ健康で働く意欲のある会員の確保とシルバー事業の周知・啓発の活動を行いました。

主な活動は9月及び1月にセンター広報紙を町内全世帯5,600戸余に約560部回覧いたしました。

また、7月30日環境美化ボランティアとして矢吹球場周辺の除草作業を会員68名で行いました。(参加率は昨年度に比し5%増)

11月6日「やぶきフロンティア祭り2022」に役員、普及啓発委員等14名が参加、当センターブースへの集客数確保と積極的な広報を行い、アンケート協力、新鮮野菜の完売、準備した広報パンフレット600部の来場者配布等の広報効果を得ることができました。

[財 源]

会費及び補助金、受託事業の事務費収入等を財源としております。

[事業の実施場所]

当センター事務所、会員の就業先事業所、町庁舎等公共施設でのパンフレット掲示及び年2回の町内全世帯へのセンター広報誌回覧を行っております。

(3) 安全就業推進事業

会員の安全意識向上のための啓蒙活動及び安全指導並びに法令等を遵守した安全で適正な就業が行える組織体制の確立を図り、事故防止の徹底に努めました。

6月の定時総会時に白河警察署矢吹交番所長による交通安全・防犯講話を行い安全意識の啓蒙を図りました。

7月に、安全・適正就業強化月間を設け、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図りつつ、不安全要素、不適正就業の根絶に取り組みました。

7月7日に東西しらかわ中畑集荷場の野菜の荷受け梱包作業及び10

月25日に東西しらかわ西部営農倉庫内の米の検査作業及び米のパレット移載作業の安全パトールを実施し作業規律が厳守され安全が保たれていることを確認しました。

また、新規入会者に対しては「シルバー事業のご案内」に記載した安全就業の安全心得を入会説明会時に周知するとともに、会員へは安全就業ニュースで配布される事故情報を事務所掲示板で周知等、類似事故の再発防止と安全就業の徹底・啓蒙を図りました。

[財 源]

会費及び補助金、受託事業の事務費収入等を財源としております。

[事業の実施場所]

当センター及び会員の就業先となる事業所や一般家庭で行っております。

[事故発生状況]

傷害事故：3件（就業中：3件、就業途上：なし。）

賠償事故：なし。

昨年度と同数の3件発生し事故皆無を達成することができませんでした。

内訳は、1件は剪定作業中脚立から落下し腰部及び臀部を打撲、2件は清掃作業中屋外の側溝を渡る際足を滑らせ左足小指を骨折、3件は植木の伐採作業中スズメ蜂に刺され炎症で通院した事故でした。

3件とも幸いに重篤事故に至りませんでした。会員の高齢化が進んでいることもあり、これまで以上に愚直に注意喚起を促し合える職場環境を育成します。

(4) 訓練研修事業

独自事業の開催はありませんでしたが、令和4年度高齢者活躍人材確保育成事業に積極的に参加し6月の「介護送迎運転講習」に5名、7月のシニアライフセミナー「働き方と睡眠習慣社会参加が健康を守る」に15名、9月のシニアライフセミナー「スマートフォン講習」に8名の計28名が参加いたしました。

今年度は研修場所が遠隔地であったため、高齢者就業拡大支援事業に残念ながら参加できませんでしたが、今後とも積極的に講習計画を提案し、高齢者活躍人材確保育成事業等の活用を図ります。

(5) 法人管理事業

ア 会員の状況

- ・年度末会員数169名（前年度170名）

内 訳

- ・年度末男性会員数109名（前年度113名）
- ・年度末女性会員数 60名（前年度 57名）

月2回入会説明会を定期開催したこと及びマッチング支援員等の広報活動効果が実り前年度に比し1名減の会員を確保することができました。

なお、今年度入会者は男性6名、女性7名の計13名、退会者は男性10名、女性4名の計14名でした。

入会説明会参加者は男性25名、女性15名の計40名で、入会説明会参加者は全員シニアパートナーに登録されました。

イ 諸会議の開催

次によるほか、諸会議・行事等報告のとおり。

- ・定時総会

コロナウイルス感染症拡大防止を徹底し、6月10日矢吹町複合施設KOKOTTOホールで開催しました。

- ・理事会

2ヶ月に1回を目途に矢吹町福祉会館で定例理事会を5回、矢吹町複合施設KOKOTTOマルチホールで臨時理事会を開催しました。

- ・委員会

今年度は安全就業委員会と適正就業委員会の合同委員会及び事業委員会と普及啓発委員会の合同委員会を開催し各委員会の相互理解と各委員会の活性化を促進することができました。

ウ 組織運営

公益法人として健全な透明性の高い運営（情報開示）と法令・定款・内部規程を順守した運営を行い、事業の健全化を図るため、消費税インボイス制度施行に係る諸準備、会員の雇用確保、事務費改定、デジタル促進事業に伴う補助事業費の要望等について、関係機関等と真摯に協議しました。